

令和4年3月4日
健康福祉部障害保健福祉課
課長 田村 博
内線 4080
外線 076-225-1425

いしかわ共生社会づくりモデル地域コミュニティの認定について

令和元年10月に「障害のある人もない人も共に暮らしやすい石川県づくり条例（共生社会づくり条例）」を施行したことを踏まえ、地域における共生社会づくりを推進するため、障害のある人との支え合いや配慮などに先進的に取り組む地域コミュニティをモデルとして認定し、県内全体に共生社会づくりに取り組む機運を拡げていくこととする。

1 認定式

日時 令和4年3月7日（月）11：30～
場所 行政庁舎4階 特別会議室

2 認定団体

○金沢市味噌蔵地区社会福祉協議会（会長 中山 稔）

地域に金沢大学附属特別支援学校があり、地域の行事や学校行事で住民と生徒が交流している。地区の福祉バザーでは、特別支援学校高等部の生徒も運営に参加し、住民から生徒への配慮、生徒から高齢住民への配慮など、お互いに支え合う環境となっている。その他、防災研修や新年会などの学校行事に地域住民も参加し、交流を深めている。

○小松ゆるスポーツ協議会（会長 坂井 さゆり）

福祉フェスティバル等におけるブース出展や老人会等への用具貸し出し、体験会などを通して、年齢や性別、運動経験、障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる「ゆるスポーツ」の普及に取り組んでいる。また、障害のある人やお年寄りが、行きたいところに行ける「旅のバリアフリー」を目指して、バリアフリー調査を実施し、バリアフリーマップを作成している。

○ボランティアグループ アンダンテ（代表 酢谷 温子）

加賀市を拠点に、障害のある人もない人も楽しめる「ほのぼのコンサート」を企画・運営している。参加者は、クラシック音楽、童謡、ダンスなど、色々な音楽を聴き、自由に音楽を楽しんでいる。障害者施設によるステージ発表や、就労支援事業所が作ったお菓子などの販売コーナーも人気である。コンサートは、障害のある人と地域の人との交流の場、共生の場となっている。